

# 米品種の変遷と寿命

## 〔奨励品種とは〕

どの都道府県でも、法律に基づいて生産を奨励するおコメ品種を指定し、必要な種子を生産・配布する仕組みを持っています。このため、奨励品種を見れば、その都道府県における主要な栽培品種の変遷を知ることができます。

では、愛媛では、どうなのでしょう。資料を集めてみると、一部は大正3年まで遡り、ちょうど現在までの100年間に、確認できた奨励品種は97を数えました。このうち、愛媛で育成された品種は、戦前で32品種、戦後の67年では10品種です。戦後、食料増産を目指し、国主導の強力な育種体制が敷かれたことが、県による品種の数にも響いているようです。

## 〔品種の寿命〕

奨励品種97のうち、8割にあたる79品種は、残念ながら20年を待たずに姿を消しています。単純に平均すると、その年数は13年。戦後だけでみると15年です。つまり、品種の寿命は、およそ13～15年となり、育種に10～15年を要することを考えれば、その寿命は思ったより短いように思います。

## 〔愛媛の奨励品種〕

奨励品種のうち寿命の長いのは、松山三井(60年)や農林22号(50年)のほか、コシヒカリ(51年)も通算すると50年以上の品種です。更に、戦前の京都旭(38年)、伊予相徳(38年)、伊予仙石(36年)があり、ヤマビコ(32年)、アケボノ(30年)、日本晴(29年)、愛知旭(25年)、愛媛水稲(24年)、農林5号(24年)、中亀(22年)、あきたこまち(21年)などが続きます。

## 〔長寿品種の血統〕

戦後の寿命が長い品種には、ある特徴を見ることができます。50年も奨励品種であり続けた農林22号が、実はコシヒカリ(51年)の母であり、ヤマビコ(30年)の父でもあり、日本晴(29年)やあきたこまち(21年)の祖父であるうえ、コガネマサリやヒノヒカリ、越路早生等もその血筋にあたります。更に、親の農林8号や農林6号まで含めると、全国の作付上位20品種のうち、16品種がその血筋で占められ、まさに一大血統が形成されているのです。

そうした見方で食味の良い品種を探すと「亀の尾、朝日、陸羽132号、農林1号・8号・22号、コシヒカリ、ササニシキ」といった、美味しさの血筋が浮かんできます。

つまり、サラブレッドに血統が付き物のよう、おコメにも血統があり、育種者は必ずその血統を用いて育成するため、今や、美味しさに品種の大差は無く、遺伝的な多様性も低くなっているのです。

## 〔品種の維持〕

寿命の長い品種は好ましいことですが、年月を重ねると、「品種はいつまで品種なのか?」という不安も出てきます。たとえば、コシヒカリは全国で栽培されていますが、全てのコシヒカリが育成当時と同じコシヒカリであるかどうかは、分かりません。おコメの品種は、特徴は同じでも、遺伝的に全く同じ集団ではないのです。もちろん育種では、次の世代に全ての特徴が確実に揃うまで、選抜を繰り返して遺伝的な固定を図ります。でもクローンではないため、長年栽培を繰り返すと、採種にわずかな偏りが生じ、それが積み重なって、いつの間にか背丈がやや大きくなったり、実が小振りになったりすることがあります。

更に、イネは99%の割合で自家受粉すると言われますが、いつの間にかモチ米にウルチ米が混じるように、他の品種と交雑したり、突然変異が起こったりもします。

明治の頃には、県内で400近い種類のおコメが栽培されていたように、おコメは遺伝的な多様性を内在しているため、品種を維持するには細心の注意が必要なのです。

〔品種が品種であり続けるために〕

研究所では、奨励品種のもとになる系統が手に入ると、各系統から1穂ずつ選んで継代用の原々種を作り、残りは永年保存しておきます。継代用の原々種は、3～4年に1度栽培し、慎重に選んで次の継代用の原々種とします。これは、世代を重ねるほど変異の確率が増し、ヒューマンエラーの可能性も増えるため、そのリスクを抑えているのです。なお、継代用に採った残りの原々種は、原種生産に用い、それによって作られた原種は、農家栽培用の種子生産に用いられます。

愛媛県では15,400haの水田に種子616トンが必要ですが、毎年、原種から411トンの種子が生産・配布されるため、水田の2/3は本来の品種により近い種子に更新されることとなります。これも、品種が品種であり続けるために必要な知恵なのです。

(ike) 愛媛県農林水産研究所 HP

(資料)

愛媛県における奨励品種とその指定期間

40年以上 (3)

品種名	期間
農林22号	<b>S19-H6</b>
松山三井	<b>S28-現在</b>
コシヒカリ	<b>S37-現在</b>

T:大正、S:昭和、H:平成(以下、同じ)

30年～40年 (6)

品種名	期間	品種名	期間
伊予相徳1号	<b>T4-S26</b>	アケボノ	<b>S30-S59</b>
伊予仙石4号	<b>T6-S26</b>	ヤマビコ	<b>S35-H3</b>
京都旭	<b>T10-S32</b>	クレナイモチ	<b>S49-現在</b>

20年～30年 (9)

品種名	期間	品種名	期間	品種名	期間
神力糯	<b>T3-S12</b>	農林5号	<b>S12-S35</b>	日本晴	<b>S43-H8</b>
愛媛水稻	<b>S9-S32</b>	中亀	<b>S14-S35</b>	タカサゴモチ	<b>S46-H6</b>
農林糯5号	<b>S12-S35</b>	愛知旭	<b>S18-S42</b>	あきたこまち	<b>H4-現在</b>

10年～20年 (29)

品種名	期間	品種名	期間	品種名	期間
伊予早神2号	<b>T6-S6</b>	農林18号	<b>S19-S33</b>	ミネニシキ	<b>S49-H3</b>
伊予弁慶1号	<b>T7-S6</b>	農林37号	<b>S25-S35</b>	せとあさひ	<b>S49-S59</b>
芒神力	<b>T9-S6</b>	伊予旭	<b>S25-S35</b>	ひめみのり	<b>S56-H2</b>
中弁	<b>T14-S17</b>	ミホニシキ	<b>S28-S45</b>	コガネマサリ	<b>S60-H13</b>
伊予白糯	<b>S8-S18</b>	旭糯	<b>S29-S44</b>	ひめのまい	<b>H3-H13</b>
尾道相徳	<b>S8-S19</b>	コトブキモチ	<b>S28-S45</b>	こいごころ	<b>H7-現在</b>
大分三井	<b>S10-S20</b>	金南風	<b>S31-S46</b>	モチミノリ	<b>H7-現在</b>
松山雄町	<b>S12-S25</b>	トネワセ	<b>S31-S40</b>	ヒノヒカリ	<b>H7-現在</b>
伊予亀治1号	<b>S12-S26</b>	セトホナミ	<b>S35-S44</b>	愛のゆめ	<b>H14-現在</b>
農林8号	<b>S14-S32</b>	クサナギ	<b>S41-S55</b>		

## 10年未満 (50)

品種名	期間	品種名	期間	品種名	期間
伊予神力1号	T1 -T2	道後早稲3号	T12-S14	山陰23号	S19-S26
伊予神力2号	T1 -T2	道後中稲1号	T12-S17	ユウバエ	S27-S32
伊予竹成1号	T1 -T2	道後雄町1号	T13-S6	ベニセンゴク	S30-S35
伊予神力3号	T3 -T6	伊予弁慶2号	T13-T14	藤坂5号	S31-S35
伊予神力4号	T3 -T6	豊国	S4 -S9	農林17号	S31-S35
伊予早神1号	T3 -T5	瑞穂	S4 -S8	ヤチコガネ	S31-S35
伊予雄町1号	T4 -T12	榎早稲	S6 -S8	綾錦	S33-S40
伊予山中1号	T5 -T6	愛国	S6 -S10	伊予千本	S33-S35
伊予仙石1号	T5 -T8	愛媛早稲1号	S7 -S9	オオトリ	S35-S37
伊予仙石2号	T5 -T8	愛媛中稲1号	S7 -S9	伊予力	S35-S37
與吉選	T5 -S9	神優	S7 -S9	越路早生	S36-S41
渡船6号	T7 -T8	打稲	S8 -S14	山田錦	S37-S41
伊予神力5号	T7 -S11	農林2号	S9 -S14	えひめもち	S38-S41
伊予仙石3号	T8 -T11	銀坊主	S10-S18	とよみのり	S38-S44
道後晩稲1号	T10-S3	農林6号	S13-S18	コトミノリ	S41-S45
道後早稲1号	T10-T11	近畿25号	S14-S19	ナンゴクモチ	S46-S48
道後早稲2号	T10-T11	富田糯	S18-S19		